

<先週の説教から>

『ルカ ㉔—イエス様の系図と誘惑』

武田真治牧師

申命記 10:12~16 ルカ福音書 3:22~4:2

今日の聖書の箇所には《イエス様の系図》が記録されています。『ああ、ルカにもイエス様の系図があったのですね』と言われる方もおられるでしょう。逆に言えば、マタイ福音書冒頭にある《イエス様の系図》の方が、はるかによく知られています。ただ、この2つの系図を比べて見るとかなり違っていることが実はわかります。その異なっている点とどうしてそうなっているのかという点を紹介できればと思います。

何よりの違いは、マタイはアブラハムから始まってイエス様までの系図ですが、ルカは逆にイエス様から始まって「～の子、～の子」と続き、しかもアブラハムより更にアダムまで遡っています。アブラハムから始まるということはイスラエル民族のルーツを辿っていると言い得ますが、アダムまで遡っているのは、イエス様の“救いが全人類を対象にしている”ということを示そうとしていると言い得るのでは。

また、マタイの系図はもう一つ、イエス様が真の「ダビデの子」であることも強く示そうとして、ダビデ→ソロモン→レハベアム→アビヤ・と代々の王様の血筋を引いている点を強調しています。しかしルカの系図は「ダビデ」の次は「ソロモン」ではなく「ナタン」になっています。ナタンはダビデの子供には違いないのですが、次の世代からは王の直系の血筋から外れたとしているのです。つまり、イエス様は王様直系の血筋よりは、むしろ王族の傍流であるということを示しているのです。より現実的だとも言い得ますね。

そして、このルカの系図で最も重要な点は、イエス様から始まった系図が「アダム。そして神に至る。」で終わっている点です。これは、日本語で読むと系図がアダムで終わって、そのアダム＝人間を創ったのが神様であるという意味で「神に至る」と書かれているように思えますが、実は原文では、

(トゥー アダム、トゥー セウー) と「～の子」という言葉がアダムで終わらず、セウー＝セウス＝神様まで続いているのです。故に正しくは「アダムは神の子」と訳せるのです。これは、当時イエス様が「神の子」と言われていたのですがもともと人間はみんな「神の子」として生まれた、創られていることを表そうとしているのです。成程です。

その上で、次の4章から、イエス様が悪魔からの誘惑に打ち勝たれる姿を記します。これは、まさにアダムは悪魔へびの誘惑に負けてしまったけれど、イエス様は真の神の子として誘惑に打ち勝たれたことにより、私たちも主に従うことで「神の子」として生きられる道を与えてくださったのだという“福音”を知らせようとしているのですね！

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 10月2日(水) 20:00
II. 10月3日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙
祈禱主題: 世界聖餐日を覚えて
担当者: (水) 鈴木 (木) 浅井
祈りに覚える人: 兼川さん 金刺さん

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女50 計70
祈禱会 I. 男4 女4 計8 II. 男2 女11 計13
日曜学校 幼稚科5 小中科8 計13
ひびじ雲の会 9月24日 男0 女5 計5

【次週主日礼拝】 10月6日(日)

聖書: 申命記 8:2~5
ルカによる福音書 4:1~8
説教: 「ルカ㉔—悪魔の誘惑は存在する？」
武田真治牧師
讃美歌: 7(1)、32、284、552、530、
79(1~2)、92(1)

【次週当番表】

司式: 飯田長老 奏楽: 勝村 礼拝: 保坂長老
配餐: 齋藤 坂田 羽倉 保坂各長老
献金: 圓谷 鶴巻 受付: 西尾 森本
会堂準備: 浅井 齋藤 山田
看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・会堂管理委員会
・長老会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 9月 29日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>